

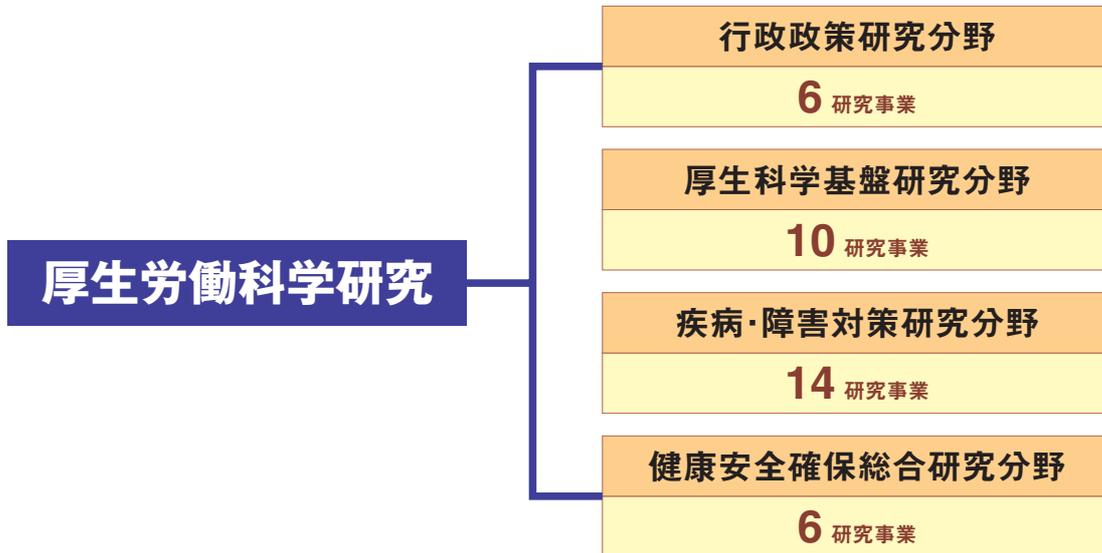
厚生労働科学研究費

循環器疾患等生活習慣病対策 総合研究事業及び推進事業

厚生労働科学研究とは

少子高齢化の進展や、健康、福祉、安全を取り巻く社会環境の変化などに的確に対応するため、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全等に関し、諸施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする厚生労働省の研究です。

下の4分野で構成され、36の研究事業が行われています。

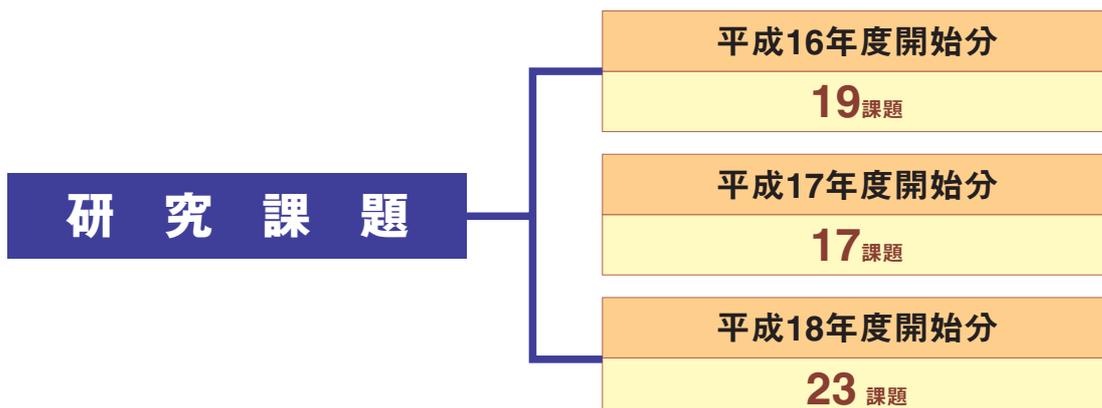


循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業とは

疾病・障害対策研究分野に分類され、生活習慣病の一次予防から診断・治療までを網羅し、体系的な生活習慣病対策の推進及び健康維持と病気の予防に重点が置かれた社会の構築に資することを目的とする研究事業です。

平成18年度から、それまで健康科学総合研究事業において実施されていた一次予防および二次予防に関する研究と、循環器疾患の診断治療に関する研究を実施していた循環器疾患等総合研究事業とが統合され、「循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業」となりました。

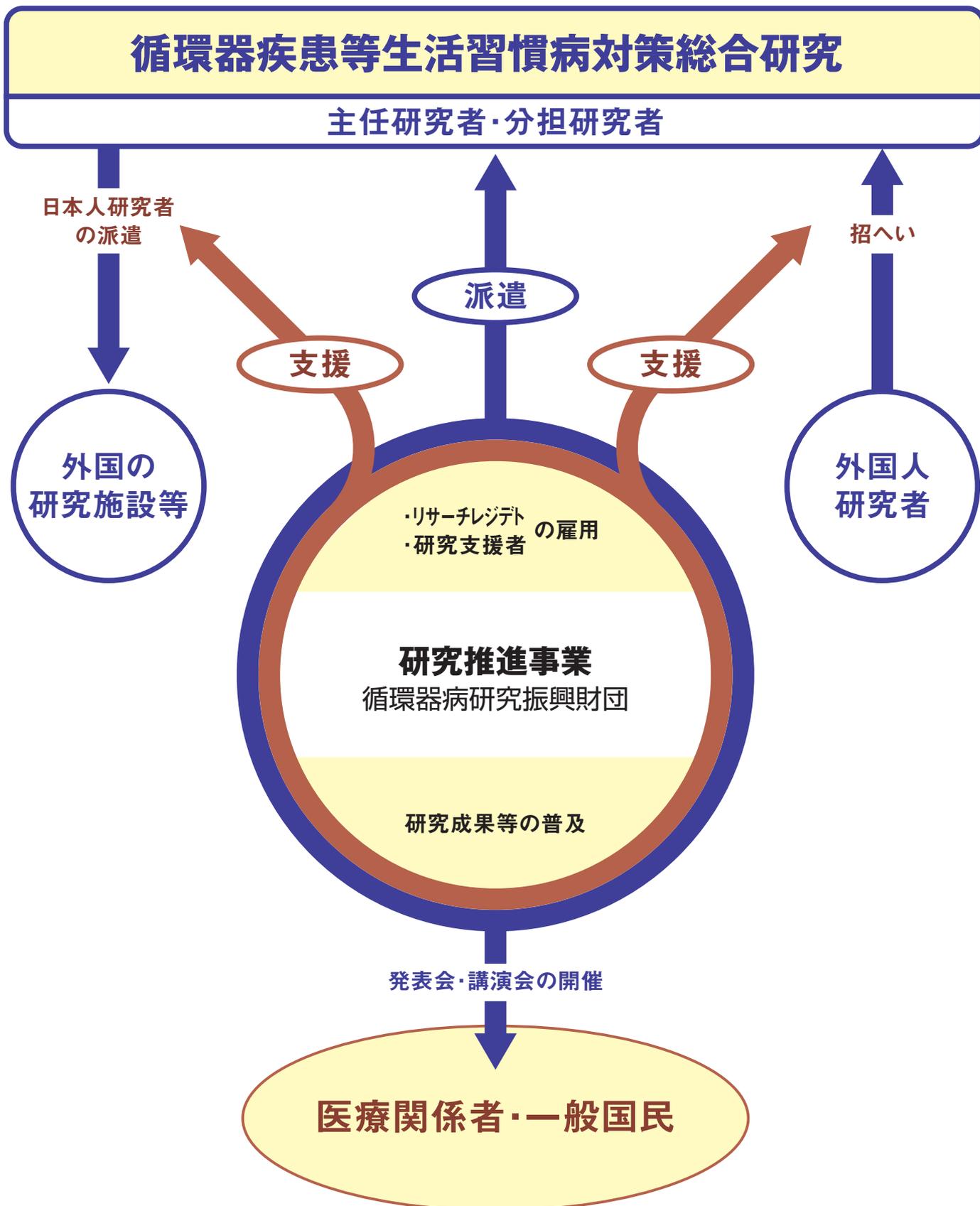
各研究課題は、全国公募され、評価委員会の評価を経て採択を決定し、研究期間は原則として3年間です。各年度においても評価委員会の評価を経て、継続の可否等が決定されます。平成18年度においては、下の59課題が実施されています。



研究推進事業とは

当財団は、平成18年度から「循環器疾患等生活習慣病対策総合研究」に関し、当該研究事業の採択課題の研究を支援するため下図の推進事業を行っています。

これらの事業は、外部専門家等で構成される委員会の意見を踏まえて行われます。



循環器疾患等生活習慣病対策総合研究の 研究課題の一部(平成18年度開始分)を紹介します。

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 1 | 離島・農村地域における生活習慣病対策の環境整備とその評価に関する研究 |
| 主任研究者 | 大阪大学大学院医学系研究科 教授 磯 博康 |
- | | |
|-------|---|
| 2 | 温泉利用と生活・運動・食事指導を組み合わせた
職種別の健康支援プログラムの有効性に関する研究 |
| 主任研究者 | 東京農業大学地域環境科学部 講師 上岡洋晴 |
- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 3 | 都道府県等の生活習慣病リスク因子の格差及び経年モニタリング手法に関する検討 |
| 主任研究者 | (独)国立健康・栄養研究所 国際産学連携センター長 吉池信男 |
- | | |
|-------|--|
| 4 | 勤労者の健康づくりのための給食を活用した集団及び
ハイリスク者への対策に関する研究 |
| 主任研究者 | 女子栄養大学給食栄養管理研究室 教授 石田裕美 |
- | | |
|-------|------------------------------------|
| 5 | 食事バランスガイドを活用した栄養教育・食環境づくりの手法に関する研究 |
| 主任研究者 | 女子栄養大学食生態学研究室 教授 武見ゆかり |
- | | |
|-------|------------------------|
| 6 | 喫煙と禁煙の経済影響に関する研究 |
| 主任研究者 | 奈良女子大学保健管理センター 教授 高橋裕子 |
- | | |
|-------|--|
| 7 | エネルギー必要量推定法に関する基盤的研究 |
| 主任研究者 | (独)国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム エネルギー代謝プロジェクトリーダー 田中茂穂 |
- | | |
|-------|--|
| 8 | 民間衛生施設を活用した健康増進のための効果的なシステムの
開発及び評価に関する研究 |
| 主任研究者 | (独)国立健康・栄養研究所 国際産学連携センター 客員研究員 大賀英史 |
- | | |
|-------|---|
| 9 | 生活習慣病対策における健診・保健指導による行動変容にかかる成功事例の
収集及びガイドラインの作成に関する研究 |
| 主任研究者 | 京都大学医学部公衆衛生学教室 教授 中原俊隆 |
- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 10 | 脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究 |
| 主任研究者 | 国立循環器病センターリハビリテーション部 部長 峰松一夫 |
- | | |
|-------|----------------------------|
| 11 | 内臓肥満の要因と動脈硬化促進に関する総合的研究 |
| 主任研究者 | 国立長寿医療センター研究所疫学研究部 部長 下方浩史 |

12 慢性心不全基本治療薬である利尿薬のクラス内予後改善効果の差異に関する研究

主任研究者 | 兵庫医科大学医学部 教授 増山 理

13 慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究

主任研究者 | 東北大学大学院医学系研究科循環器病態学 教授 下川宏明

14 幼児期・思春期における生活習慣病の概念、自然死、診断基準の確立及び効果的介入方法に関するコホート研究

主任研究者 | 国立病院機構鹿児島医療センター小児科 医長 吉永正夫

15 多施設共同研究:小児・思春期(若年)発症2型糖尿病の合併症率の経年的全国調査

主任研究者 | 東京女子医科大学 糖尿病センター 教授 内潟安子

16 自動体外除細動器(AED)を用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究

主任研究者 | 兵庫医科大学救急・災害医学 教授 丸川征四郎

17 筋肉の量的、質的維持がメタボリックシンドロームの予防に及ぼす効果に関する研究 — 具体的な筋力トレーニングプログラムの開発

主任研究者 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻 COE研究員 田辺 解

18 生活習慣病一次予防に必要な身体活動量・体力基準値策定を目的とした大規模介入研究

主任研究者 | (独)国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム 特別研究員 高橋佳子

19 健診受診者のコホート化と運動、栄養介入による生活習慣病予防

主任研究者 | (独)国立健康・栄養研究所 理事長 渡邊 昌

20 動機付けの差による生活習慣における行動変容の継続性に関する研究 — 歩数確保による運動習慣の形成及び継続性に向けた新たなインセンティブ構築の提案

主任研究者 | 名古屋学芸大学 学長 井形昭弘

21 糖尿病における失明、歯周病、腎症、大血管合併症などの実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究

主任研究者 | 富山大学附属病院 病院長 小林 正

22 メタボリックシンドロームの動脈硬化症早期発見と治療を目的とした網膜病変解析の有効性に関する前向き調査

主任研究者 | 熊本大学大学院医学薬学研究部代謝内科学 教授 荒木栄一

23 1型糖尿病およびインスリン療法を要する2型糖尿病の自己管理能力向上に関する研究

主任研究者 | 国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究部 室長 坂根直樹

厚生労働科学研究費補助金の公募について

厚生労働省では、厚生労働科学研究費補助金における研究課題の募集を、厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>) に掲載する形で行っています。

研究課題に応募する場合は、研究計画書を作成し、定められた期日までに各研究事業毎に厚生労働省の担当課に提出することになっています。

応募された研究課題は、「専門的・学術的観点」や「行政的観点」等からの評価を得たのちに採択研究課題が決定されます。

※各年度の公募要領の詳細は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

※循環器疾患等生活習慣病対策総合研究の厚生労働省担当課は健康局総務課生活習慣病対策室です。

厚生労働科学研究推進事業費による公募について

循環器病研究振興財団では、厚生労働科学研究費（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究）で研究課題を公募し、応募採択された研究者を対象に次の事業を行っています。この公募の案内は、関係する研究者に通知するとともに、財団ホームページ (<http://www.jcvrf.jp/>) にも掲載しています。

- 外国人研究者招へい事業
- 外国への日本人研究者派遣事業
- 若手研究者育成活用事業
- 研究支援者活用事業
- 研究成果等普及啓発事業

財団法人循環器病研究振興財団について

本財団は、脳卒中、心臓病、高血圧等の循環器病に関する研究を助長、奨励するとともに、これらの疾患の最新の診断、治療法の普及を促進し、さらに医療関係者、研究者の育成と研修を行い、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的として昭和62年10月厚生大臣（当時）の設立許可を受け、また特定公益増進法人として許可されております。

本財団の主な事業内容は次のとおりです。

研究助成事業	①公募研究助成 ②指定研究助成
研修助成事業	①国内外研修者助成 ②国際共同研究者助成
学会助成事業	①国際学会・国際会議・援助・協力 ②国内学会・学術集会助成
普及・支援事業	①講演会等の開催・支援 ②研究業績集の発行 ③予防啓発活動

財団法人 循環器病研究振興財団

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5-7-1

(国立循環器病センター内)

TEL:06-6872-0010 FAX:06-6872-0009

<http://www.jcvrf.jp>